

2017

8

August
No. 293

広報みしま

福島県
大沼郡
三島町



三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

Mishima Town Public Relations

野球の魅力に触れる

第2回ふれあい野球教室（6ページに関連記事）



主な内容

平成 29 年度三島中学校立志式	2	図書のご案内	10
なすびさん記念講演	3	町史編さん室だより	11
まちの話題	4～6	地域おこし協力隊活動報告	12
町民記者通信	7～9	宮下病院からのお知らせ	12・13
健康で元気な毎日!	10	情報配信	14～15
		町長日記	16

「自分が一步前に進むことで道が開ける」

なすびさん 三島中立志式記念講演
「ふるさと福島への思いと願い なすび なるの応援の形」

福島県出身のタレントで、昨年5月にエベレスト登頂に成功した、なすびさんの講演会が三島中学校立志式の後に行われました。

なすびさんは東日本大震災の後、イベントや物産展での活動を続けるうちに、震災の記憶の風化を感じ「お金や物ではなくて、心に届くことができなにか考えました」とエベレスト挑戦のきっかけや、4回にわたるチャレンジの様子を動画を交えて語りました。

また、今までの活動をふまえ、子ども達に「失敗を恐れずに、色々なことに挑戦して欲しいと思います。失敗したからこそ、得

られるものは大きいものです。自分が一步前に進むことで、道は開けていきま

す。福島県人としての誇りと、自信を持って巣立って行ってほしいと思います」と未来に向けたメッセージを贈りました。また、保護者の方などに「失敗してもいいという、大きな心で子どもを見守っていて欲しいと思います。そして、子どもの未来を明るく照らすために、私たちが命をかけて未来を切り開いていかないとはいけません」と力強いメッ

セージを贈り講演を締めくくると、会場は大きな拍手に包まれました。最後に出席した中学生と一緒に記念撮影を行い、講演会は終了しました。

▼なすび氏 タレント。
日本テレビ「電波少年的懸賞生活」でブレイク。東日本大震災で被災した故郷である福島の復興を祈念し、2013年よりエベレスト登山に挑戦し、4度目の挑戦で登頂を果たす。福島市出身。42歳。



1. 堂々と立志証書を受け取ります
2. 全校生による校歌斉唱
3. 誓いの言葉を述べる、小松凌大さん
4. 励ましの言葉を贈る、中丸みちるさん
5. 式が終わり、笑顔で記念撮影



自分の未来に誓いを立てる 平成29年度 三島中学校立志式

平成29年度三島中学校立志式は7月7日に、交流センター山びこで挙行され、三島中2学年11名が桐の額に入った立志証書を、佐藤昭校長より授与されました。生徒たちは、立志証書を授与されると一人ひとり立志の言葉を述べました。その後3年生の中丸みちるさん(宮下)が励ましの言葉を贈りました。また、2年生を代表して、小松凌大さん(西方)が「支えてくださっている、たくさんの方の思いを胸に、11人全員で共に未来に羽ばたいていく事を、ここに誓います」と誓いの言葉を述べ、人生の指針と強い意志を表明しました。

家

庭バレーボール、テニスが会津大会へ
第70回福島県総合体育大会県民スポーツ大会両沼大会

第70回福島県総合体育大会県民スポーツ大会両沼大会は7月2日に会津美里町で行われ、6種目に7市町村が参加し、熱戦が繰りひろげられました。当町では過去最多となる、家庭バレーボール、テニス、壮年ソフトボール、卓球、バドミントンの5種目に参加し、日頃の練習の成果を発揮しました。結果は、壮年ソフトボール、卓球、バドミントンでは惜しくも入賞を逃しましたが、家庭バレーボールでは三島パープルレディースが見事優勝、テニスでも三島テニスクラブが3位に入賞し、8月6日に柳津町で行われる会津大会への出場権を手に入れました。参加された皆さま、大変お疲れさまでした。



地 域の力で犯罪・非行のない社会へ
社会を明るくする運動 町内パレード

7月の「社会を明るくする運動」強調月間に合わせ、同運動町推進委員会は7月11日、町内の啓発パレードを行いました。委員10人が参加し、啓発放送を流しながら町内を巡回したほか、三島小・中学校を訪問し、いじめや非行の防止について情報交換を行い、犯罪や非行のない地域づくりへの協力を呼びかけました。



他 人を思いやる気持ちを育む
三島小学校で人権教室

三島小1・2学年を対象にした人権教室は7月19日に三島小学校で行われ、人権擁護委員の二瓶厚さん(名入)、角田信子さん(大登)が講師を勤めました。教室では、講師のお二人が、花が咲く過程に例えながら、他人におもいやりをもって接する事の大切さを伝え、児童たちは熱心に聞き入っていました。



早 起きは三文の得
早朝座禅会

7月25日、宮下地区の宮昌寺で早朝座禅会が行われました。この座禅会は「社会を明るくする運動」三島町推進委員会が、犯罪予防のための家庭、地域づくりを目的に開催したもので、町内から親子連れなど18名が参加しました。参加者の皆さんは座禅を組み、心静かに遠藤弘佳住職の説法を聞いていました。

伝統行事「虫送り」 西方・名入・大石田地区



西方地区の虫送りの様子



名入地区の虫送りの様子



大石田地区の虫送りの様子

中学生を中心とする西方地区恒例の虫送りは、6月10日の午後7時から行われました。当日は午前中から保護者や地区委員の協力を得ながら作業を開始しました。提灯をつるしたり、竹筒を使って炎を照らしたりするための竹のグループと荷車の周囲をさまざまな木の葉で覆うための小枝取りのグループに分かれて作業に取り組みました。人数の少ない西方地区の中学生は、1ヶ月以上も前からふるさとセンターで一つひとつ丁寧にイラストや文字を書いた提灯を100個以上作り上げました。そんな思いが天に届いたのか午後からの風交じりの大雨も夕方にはおさまり心地よい虫送りとなりました。沿道にはたくさんの住民が子どもたちの元気な虫送りのかけ声に励ましの拍手を送っていました。少子化の進捗中、地区住民の協力を得ながら貴重となった村の伝統行事を守って欲しいものと切に思う夜となりました。文・写真 本名与四郎さん(町民記者・西方)

名入地区の虫送りは地区の子どもたちが中心となって、6月17日に行われました。保護者や地区の方、他地区の子どもたちの協力を得ながら山車やかご、旗などを持ち、地区内を練り歩きました。

7月8日、今年度の大石田虫送りが行われました。この準備のため大石田地区の各団体と町の協力があり今年の虫送りの開催ができました。婦人会は飾りの紙花、ボランティアグループは提灯、壮年倶楽部はだしの車の飾りつけと虫かごの作成です。

大石田地区も子供が少なく町全体の子供、親の協力がないと実施できない状況です。今後の実施の目標としてはかけ声、太鼓などに地区の特徴がありました。が年々薄れていましてどのように引き継ぐことが課題だと思えます。文・写真 中兵一郎さん(町民記者・大石田)

島から全国28カ所へ
宿根カスミソウ初出荷

当町産のカスミソウは、JA会津よつばカスミソウ部会を通じて、全国の市場に出荷されています。所属する当町の3生産者は今年の初出荷となった6月26日、川井地区の集荷場に集まり、品質などを確認しました。長年生産に取り組んでいる角田亀好さん(川井)は「良品のカスミソウを安定的に出荷できるように取り組んでいきます」と話しました。出荷作業は10月下旬まで毎日のように続きます。



品質を確認する生産者の方々



受け継がれる郷土の味
おばあちゃんの味

6月30日、町民センターで郷土料理を子どもたちに伝える「おばあちゃんの味」が行われました。地域の伝統的な料理の知恵や栄養を学ぶ食育の場として、三島小6年生が老人クラブ連合会女性部の皆さんと「五目ごはん」「もちのご汁」「しそ味噌巻」など6品目を作りました。

感謝を込めて、一生懸命に、そして楽しく

文・写真 五十嵐信一さん (早戸)

6月25日、毎日つるの湯に入浴できることへ感謝を込めて例年実施している、有志による刈り払いが早朝6時から早戸・滝原地区25名により行われました。当日は天候にも恵まれ、つるの湯駐車場周辺や遊歩道、温泉神社山道を刈り払いました。早朝からの作業で、少人数では対応できないことでしたが、皆さん慣れた手つきで作業を進め、協力しあい1時間ほどで完了しました。作業を終えた参加者は、爽やかな表情で「また来年がんばりましょう」と話していました。



稀蝶の生態観察に全国からマニアが歴訪

文・写真 角田伊一さん (川井)

三島町は全国的にも数少ない稀蝶キマダラルリツバメの生息地として有名です。今年も6月下旬から7月中旬までに、遠くは愛媛県、広島県、北海道など全国からマニア、研究者、プロカメラマンなど大勢の同好の士が訪れ、「梅雨の妖精」ともいわれるその神秘的な姿を観察され、堪能してお帰りになされました。川井地区の生息地では毎日のように歴訪者のために観察会を開催し、撮影の便宜を図るとともに、町天然記念物の蝶の保護活動を続けております。



鳴神様と山の神様境内の清掃

文・写真 角田伊一さん (川井)

7月16日の早朝、川井地区では恒例の鳴神様と山の神様の境内一帯の清掃活動を行いました。双方とも杉の深い木立の中に祭祀されており、毎年参道から境内一帯は杉の落葉や小枝で埋め尽くされるので、雑草とともに取り除く作業を実施しております。梅雨から初夏にかけては落雷の頻度が高く、とくに川井地区の旧鳴神様祭祀地は昔から雷の通り道として恐れられており、江戸時代の中ごろに村民を雷から守るために、ホノカツチの神を祭神とした石祀を勧請したと伝えられております。



こらんしょ運動教室開催

文・写真 佐々木邦雄さん (松原)

6月26日午後1時30分より、松原多目的集会所において、こらんしょ運動教室が開催され、地区より10名が参加しました。関節痛を楽にするマッサージやストレッチ、筋力アップの方法を島田一郎先生による資料の丁寧な解説と、笑いありの実践を通して楽しく学びました。また、日々の運動がもたらす効果と、体質に合った運動を教えてくださいました。先生は「少しでも多くの方に運動教室への参加を呼びかけ、生きていくために必要な体力をつけていただきたい」とおっしゃっていました。おわりに「みしま健康ポイント」を押していただき、終了しました。



福一満そばクラブの平成29年度第2回活動

文・写真 中兵一郎さん (大石田)

福一満そばクラブの第2回活動は7月2日に行われました。今回は午前中にそば打ちの講習会、食後は美坂高原でのグラウンドゴルフの予定でしたがあいにくの雨で中止となり、午後は輪投げを楽しみました。ほとんどのオーナーは輪投げは初めてでしたが、実際にプレーしたところ、奥深さを味わったようでした。



白 球追いかけて

第2回ふれあい野球教室

町野球チーム「ヒートブロー」による野球教室は7月17日、町民運動場で行われ、町内から子どもを中心に約20名が参加しました。今回で2回目となる教室では、キャッチボールやバッティング練習などを行い、参加者のみなさんはメンバーの指導で野球の魅力に触れながら、楽しくプレーしました。次回開催は秋ごろの予定です。

〈広報担当より〉今月号の表紙は野球教室での一枚です。大人数の参加に加え、経験者に教えてもらいながらのプレーは大変貴重だと感じました。



バッティング練習の様子



メンバーの指導を熱心に聞く参加者



キャッチボールの様子

た すきでつなく希望の灯

ふくしま駅伝「希望ふくしま」チーム合同練習

11月19日に開催される、第29回ふくしま駅伝大会に出場する「希望ふくしま」チームの顔合わせと合同練習が7月22日に行われました。当町を含む7つの町村の選手からなる、希望ふくしまチームの出場は今回で5回目となります。

当町からは、昨年に引き続き、北館亮さん(西方)、小平梨々花さん(西方)、星日代里さん(西方)の3名が選手に登録されています。町内で自主トレーニングをしていますので、見かけた際は応援よろしくお願いします。



5 つの新記録を樹立

第27回両沼西部三町村小学校体育交流会水泳記録会

三島・金山・昭和の三町村小学校水泳記録会は7月25日、金山小プールで開催され、三島小5・6年生の児童が多くの種目で活躍し、新記録も多数生まれました。

【主な成績】▶5年男子=100m自由形①秦慎之助(新記録)、50m自由形①板橋卓(新記録) 50m平泳ぎ①酒井大駕(新記録)、100m平泳ぎ①秦慎之助、100m個人メドレー①真田智和(新記録)、50m背泳ぎ①真田智和 ▶5年女子=50m背泳ぎ①小松智広 ▶6年男子=50m背泳ぎ①五十嵐望 ▶6年女子=50m自由形①星明音里、50m平泳ぎ①二瓶教香、100m個人メドレー①星明音里、50m背泳ぎ①二瓶教香 ▶100mメドレーリレー①混合①男子①女子 ▶200mリレー①混合①男子



駅舎跡地の「花壇造成と花の植栽！」

文・写真 五十嵐公男さん（名入）

名入地区の交通安全母の会（支部長 半澤美由紀さん）と地区有志が参加し、会津西方駅の駅舎跡地を借用して、花壇の造成と花の植栽が行われました。7月6日、8日の2日間で、雑草と異物の除去と造成区画の整地・測量。9日に花壇ブロックの組み立てと砂の搬入を行い、幅1.06m、長さ18m（後日36mまで伸ばす予定）の花壇が地区有志で造成され、母の会に引き渡されました。

母の会では、7月15日午前6時から9名の会員が参加して、450本のマリーゴールドの苗を、1時間程で植栽しました。この一連の作業は、「会津西方駅周辺の景観美化」と「JR利用者に花でおもてなしをするため」という目的から計画されたもので、今後大切に管理されていきます。最後に会津宮下・坂下駅の駅長さん、砂の搬入や区画整備にご協力頂いた地区外の方々に深く感謝申し上げます。



刈払いで大林公園がスッキリ！ 文・写真 本名与四郎さん（西方）

7月15日の午前5時30分より、大林公園を中心に刈り払い作業が行われました。4月中旬に「カタクリさくらまつり」で大変な賑わいを見せた大林公園は、7月中旬ともなると、雑草が大人の背丈ほどに伸びて鬱蒼とした林と様変わりをしていました。当日は陽が昇る前の爽快感の中、西方財産管理会の委員や地区委員の方々がそれぞれ草刈り機を持参し、草刈り機のエンジン音が大林公園内に鳴り響きました。2時間近くの刈り払い作業で、散髪したようなスッキリとした大林公園となりました。刈り払い作業を通して、地区の方々の地元の山を守り次の世代に受け継ごうとする団結力を感じたひと時となりました。

祭礼の実行委員会を開催 文・写真 本名与四郎さん（西方）

西方地区の夏の一大イベントである「盆踊り・豊年踊り」の実行委員会が7月15日午後7時30分よりふるさとセンター談話室において行われました。当日は西方区長を会長として、地区委員の社会部や分館長を中心に西方地区の諸団体が一同に会し、熱心な協議がなされました。例年「豊年踊り」では、団体や個人による奇抜な仮装やゆるキャラを模した仮装で豊年踊りを盛り上げ、初秋に向けての風物詩となっています。今年も五穀豊穡を願いながらの実行委員会となりました。



国道沿いの花植えと「おこもり」

文・写真 佐久間絹江さん（滝原）

7月15日午前6時より、滝原地区入口待避所の花壇の花植えを行いました。オレンジ色と黄色のマリーゴールドが植えられ、これからの暑い夏に通行する車や人々の目を楽しませてくれるでしょう。また18日は、毎年この時期恒例の「おこもり」を駒形神社で行いました。昔は夜通し行っていましたが、近年は午後7時に参集して、神前でお神酒をいただき、家内安全、五穀豊穡を祈願しながら親睦を深めています。



本山特別派遣布教師 布教講座 文・写真 小島純さん（宮下）

宮昌寺護持会（五十嵐英世会長）は、7月1日に本山特別派遣布教師、斎藤隆明老師（北海道函館市 大平山永会寺住職）の布教講話を宮昌寺で開催しました。午前10時から法要（般若心経）の後、法話（布教講話）に入りました。演題の「受け継がれていくもの」では、住職を継ぐまでの、父親とのエピソードを披露。また、今でも語り継がれている、昭和9年に起きた函館大火の惨状などをふまえ「相承」「同事」など仏教用語をわかりやすく説明しました。本堂には町内外から約60名が集まり、熱心に聞き入っていました。



プールの壁面が賑やかに！ 文・写真 小島純さん（宮下）

宮下地区で進めている「プール壁画アートプロジェクト」は7月7日、三島小学校プールわきで行われ、三島小学校6年生の児童が宮下地区委員の協力、補佐を受けながら、思い思いの絵をペンキにまみれながら壁に描きました。町内の美術家の半澤政人さん（名入）のアドバイスを受け、汗を流しながら一生懸命筆を動かしました。

「サロンないり」社会見学 文・写真 五十嵐公男さん（名入）

サロンないり（代表 二瓶厚氏）の社会見学は7月14日に行われ、会員14名が参加しました。昨年度まで社会福祉協議会のご協力を得て、他の地区のサロンと合同社会見学を行っていましたが、サロンないりが発足3年目となる今年度からは、自主的に計画・運営する事になりました。8時30分、名入地区を出発したバスは一路、野口英世記念館に向かい、生家及び館内を見学した後、ラーメン館、地ビール館、世界のガラス館、カワセミ水族館とみて回り、ゆっくりとした1日を過ごすことが出来ました。



フラワーロードへの花植え 文・写真 諏訪典子さん（大谷）

6月22日、大谷ボランティアすみれ会と寿老会、交通安全母の会員36名が、花植栽地の床づくりと、美しい村づくり事業の一環として、バス停留所へ設置するプランター作りと、花植えを行いました。また、地区に6カ所あるフラワーロードの花植えは7月15日に行われ、三者合同で、マリーゴールド448本を植えました。

健康を守る会研修旅行 文・写真 諏訪典子さん（大谷）

健康を守る会研修旅行は7月17日に行われ、24名の参加のもと、山形県立石寺（山寺）、高島町のワイナリーを見学しました。まずは山寺にある1,000段の階段を登り切れるか不安な気持ちがありましたが、休み休み登るといつの間にか頂上に着いていました。それぞれ参拝して下山し、高島のワイナリーに向かいました。試飲しながら、思い思いのワインを購入し、バスの中でもにぎやかで楽しい一日を過ごしました。





子どもの虫刺されに 注意しましょう！

vol.7 **健康で元気な毎日！**
町民課保健福祉係 ☎48-5565

いよいよ夏本番です！外で元気に活動する子どもたちですが、最近、腕や足に真っ赤な虫さされのあとが見られます。中には水ぶくれになってしまったり、赤みが広範囲に広がってしまっている場合も……。とびひの防止やデング熱、日本脳炎などの蚊に刺されることが原因でまれに起こりうる感染症予防のため、蚊には十分に注意しましょう。

なぜ子どもは蚊に刺されやすい？… 乳幼児は体温が高く、新陳代謝が活発で、汗もたくさんかきます。その上皮膚が柔らかいので、大人よりも蚊に刺されやすい特徴をもっています。

子どもの虫刺されの症状は？

- 腫れ**
乳幼児は虫さされの経験が少なく、身体に抗体ができていません。蚊に刺されてしまうと大きく炎症を起こします。また皮膚が薄くて柔らかいので、赤く腫れてしまいます。
- かゆみ**
子どもは大人と違ってかゆみを我慢できません。かきすぎると、肌にあとがのこってしまうこともあります。
- 水ぶくれ**
かゆみを我慢できずにかきむしってしまうことの他に、蚊の唾液にアレルギーを起こすことが水ぶくれの原因になる場合もあります。蚊に刺されるといつも水ぶくれになるようであれば、蚊のアレルギーを持っている可能性が高いです。
- とびひ**
虫刺されによる水ぶくれの中には、とびひを起こす感染力の強い細菌が含まれています。水ぶくれをつぶしてしまい細菌のついた手で皮膚を触ることで、その部分の皮膚にも炎症が起こってしまいます。

予防するには？

- 乳幼児用の虫よけ剤を利用する
スプレーやリング、パッチ状のもの他、ベビーカーに吊り下げるタイプもあります。
※子どもの肌はデリケートなので、皮膚に貼るタイプのものは皮膚トラブルにご注意ください。
- 着る服の色に気をつける
蚊は黒色を好みますので、外出する際はなるべく黒っぽい色の服装は避けましょう。
- 蚊の活発な活動時間を把握する
午前5時～午前6時、午後6時～午後7時の外出はなるべく控えましょう。

刺された時は……

- 患部を水で洗って濡らしたタオルで冷やしてあげましょう。ウエットティッシュで拭くだけでも効果が期待できます。
 - 子どもが患部に触れて悪化しないように、包帯やガーゼで患部を覆ってあげます。
- 虫対策を万全にして、子どもたちと元気に楽しい夏をお過ごしください！

図書のご案内

町民センターゆめぼけっと

下記の雑誌を毎月購読しています。
ひよこクラブ・たまごクラブ・山と溪谷・オレンジページ・壮快・Number

- 利用時間
①～④ 午前9時～午後9時
⑤・祝日 午前9時～午後5時

○お休み
年末年始
☎公民館 ☎(48)5599

●今月のおすすめ

みかづき 著者：森 絵都

舞台は昭和36年。小学校用務員の大島吾郎は、教員免許はないが、抜群の教える「才」を持つ。ある日、公教育に不信を抱く赤坂千明に誘われ、学習塾を立ち上げる。ベビーブームと経済成長を背景に、塾も順調に成長してゆくが、予期せぬ波乱がふたりを襲う。昭和～平成の塾業界を舞台に、三代にわたり奮闘する家族の物語。2017年本屋大賞第2位。



●新着本の紹介

題名	著者
劇場	又吉直樹
ああ面白かったと言って死にたい	佐藤愛子
翻訳できない世界のことは	前田まゆみ
自閉症の僕が飛び跳ねる理由	東田直樹
文房具図鑑	山本けんたろう

町史編さん室だより

第19回

聖なる場 前坪山麓（間方地区）

間方地区と昭和村の野尻地区は美女峠を挟んでつながっています。峠は徒歩で通行が可能です。入間方からは同村の下中津川上平に通じる不動沢林道があります。

その入間方集落の南方、前坪山のふもとに水田があります。近年、トチノキの花の蜜を集める養蜂箱が近くに置かれ、熊よけの電気柵も設置されています。この水田では、「柵田お田助オーナー」による田植えなどが行われ、昨年からは一部の水田にマコモが植えられています。

その付近にある、堂平に祀られていた大日如来像が、数百年前に旧新鶴村（現会津美里町）の佐賀瀬川に遷ったという伝承が、間方・佐賀瀬川両方に残されています。佐賀瀬川には大日如来の堂宇が現在も存在しており、この伝承は江戸時代に書かれた『間方村覚書』にすでに記されています。また現在、堂平にある大日如来の石像はその石祠に宝暦十二（一七六二）年八月の記録があります。入間方入口には安永六（一七七七）年九月吉日講中が建立した「弘誓三仏塔」があり大日如来の種子が刻まれています。大日如来は佐賀瀬川

に遷った後、もう一度祀る動きがあったことを示しているように思えます。

この堂平は開墾され水田となった時代もありましたが、現在は湿地・草原になっています。堂平にある大きな石の下部から大日清水が今でも湧出しています。『間方村覚書』には今でも湧出したことと記されています。間方の皆さんはこの地でよく矢じりや土器片を拾ったと言います。その土器片を調べると縄文時代中期（約五千年前）のものであり、この地には古くから人々が暮らした跡が見られます。

この近くにはかつて伊豆箱根神社もあり、冬ともなれば、クサヤネ（カヤブキ）の雪下ろしを行っていました。また元あった場所が遠いということもあり、集落近くの現在の場所に遷したといえます。また元あった場所が間方の共有地で、神社周辺にあった何本もの太く大きな杉は野尻の人に売却し伐採された。久保田昭一さんから聞きました。この杉は、堂平に伊豆箱根神社を建てた際、その境内に植林をしたものと考えられます。雪深い地域において杉が大木となるまでの時間、入間方の

もし、ご家庭に古い文書などがございましたら、交流センター山びこまで一報ください。
☎(52)2165

人々が数百年も管理を続けたことを考えると、大変な苦労がしのべれます。

堂平と前坪山、そして志津倉山も含め、大日如来の遷座伝承や修験関係の地名等がみられる、ということはとても興味深く、この地は聖なる場であったと考えられます。かつて、この神社に修験の人々が泊まったことがあったかもしれません。

文 三島町史編さん専門委員 菅家 博昭



入間方 石祠に安置された大日如来の石像



切り傷で出血した患者さんの中に、傷の中枢部をひもやタオル、ゴムなどでしばり来院する方がいます。出血に驚き、止血を考えて行うのでしようが、しばった先の方に血液が溜まってしまつて、止血が難しく、血流を閉ざすことによる末梢循環障害を考えると、このような止血は危険です。出血創に対して清潔なタオルやガーゼを厚くおいて、その上を強く手で抑えて、医療機関を受診してください。

また、擦り傷などの汚染創の場合は、多量の流水による異物除去、洗浄を行い消毒剤を使用します。患者さんは、傷が乾くことが治癒してきていると考えることが多いようですが、表皮は容易に閉鎖しやすいため一見治癒しているように見えても、深部に異物が残っている場合があると、傷が治りにくいことがあります。

うちみや捻挫では湿布は初期治療であり、徐々に関節可動域運動を行う必要があります。痛いからと言って3週間以上も湿布のみで運動を行わなければ、関節や筋、靭帯の拘縮を来すことになり、逆に痛みの原因となります。入浴の際に患部を温めて自動運動を行うことをお勧めします。

県立宮下病院長 浅野 宏

◆診療日記

【けが・うちみ・ねんざについて】

宮下病院送迎バスの時刻表が変わります！（第2・第4水曜日のみ）

宮下病院では、より多くの皆様に送迎バスを利用していただけるよう、送迎バス時刻表の改正（第2・第4水曜日のみ）を実施いたしますので、お知らせいたします。
改正年月日は、平成29年8月9日（第2水曜日）からです。変更後の時刻表は下表のとおりです。

第1便 昭和村、金山町川口方面

昭和村→宮下病院	宮下病院→昭和村		
昭和村すみれ荘	8:03	宮下病院	11:00
昭和村役場前	8:05	JR川口駅前	11:25
オーハラ堂前	8:06	川口上前	11:26
阿久戸ハゾメ前	8:07	スキー場入口	11:29
下中津川栗城前	8:08	小栗山	11:29
中向公民館前	8:12	小栗山上村	11:29
松山	8:14	坂井	11:31
川上	8:17	玉梨八町温泉	11:33
下方	8:24	東中井	11:34
上中井	8:25	上中井	11:35
東中井	8:26	下方	11:36
玉梨八町温泉	8:27	川上	11:37
坂井	8:29	松山	11:43
小栗山上村	8:31	中向公民館前	11:46
小栗山	8:31	下中津川栗城	11:48
スキー場入口	8:31	阿久戸ハゾメ前	11:52
川口上前	8:34	オーハラ堂前	11:54
JR川口駅前	8:35	昭和村役場前	11:55
宮下病院	9:00	昭和村すみれ荘	11:57

第2便 金山町川口、三島町早戸方面

川口→宮下病院	宮下病院→川口		
スキー場入口	9:41	宮下病院	13:00
川口上町	9:44	高清水	13:03
JR川口駅前	9:45	滝原	13:07
上井草橋	9:46	早戸入口	13:09
大志集会所前	9:47	湯の平	13:10
JR会津中川駅	9:49	早戸温泉	13:11
佐藤農機前	9:49	高倉村中	13:13
上田村中入口	9:51	下大牧集会所	13:15
水沼公園	9:53	上大牧入口	13:16
上大牧入口	9:54	水沼公園	13:17
下大牧集会所前	9:55	上田村中(集会所前)	13:19
高倉村中	9:57	佐藤農機前	13:21
早戸温泉	9:59	JR会津中川駅	13:21
湯の平(※三更)	10:00	大志集会所前	13:23
早戸入口	10:01	上井草橋	13:24
滝原	10:03	JR会津川口駅前	13:25
高清水	10:07	川口上町	13:26
宮下病院	10:10	スキー場入口	13:29

※スキー場入口～JR川口駅前乗車する方には、原則第2便に乗車していただきます。ただし、予約状況によっては、第1便に乗車していただくこともあります。

地域おこし協力隊活動報告

担当 常盤 達彦(2年目)

Vol.5



6月の星空×ヨガの様子。大勢の方に満足していただきました。

地域おこし協力隊は美坂高原の利活用に取り組んでいます。昨年度も様々な企画を立ち上げイベントを開催いたしました。今年度では6月24日に美坂高原にて天体観測と野外ヨガを組み合わせたイベント「星空×ヨガ」を行い、町内外から約150名ものお客様に足を運んでいただきました。当日は残念ながら曇り空だったためキレイな星空を見ることができませんでした。美坂高原の星空はどこにも負けない三島町の魅力のひとつだと思っています。美坂高原に初めて来た、とおっしゃっていたお客様は、すごく良いところですね、と美坂高原の自然に感動されていました。今は町外からのお客様を呼び込むために、単発的にイベントを開催してアピールをしています。



8月19日は高原シネマの日。子どもから大人まで楽しめます。

こうして美坂高原の良さ、ひいては三島町の良さ、というものを来ていただいた方々に知っていただき、広げていっていただければ、将来的にイベントがなくなるとも、三島町に遊びに来てくれる方が増えるのではないのでしょうか。協力隊は8月19日にも美坂高原でイベントを行います。今回は野外映画上映イベント「高原シネマ」を開催します。映画上映の他にも、美坂高原でとれた蜂の巣を使ったミツロウづくりなどを体験できるワークショップを行ったり、三島町の飲食店さんが一堂にお店を出したり、賑やかなイベントになります。お時間のある方はぜひとも美坂高原まで遊びに来て下さい。

宮下病院より 8月 愛ばんしょ外来のお知らせ



宮下病院では、毎週木曜日「在宅療養生活支援外来(愛ばんしょ外来)」を行っています。

- ①病気や障がいを抱えて家で生活する方や、家族からの介護や生活についての相談窓口
- ②地域に住む方々の健康維持・増進、介護・疾病予防のための支援
- ③地域に住む方々が気軽に立ち寄れる交流場所の提供などを目的に、看護師、薬剤師、栄養士、リハビリスタッフが皆様の在宅生活のためのお手伝いをさせていただきます。

※無料ですので、お気軽にお越しください！

※相談コーナーでは、例えば……
「健康のことを考えたいけど、何をすればいいかわからない」
「介護のコツを知りたい」
「話し相手が欲しい」
など、健康、介護、医療に関することについてご相談をお受けします。

月 日	内 容
8月10日(木)	・相談コーナー ・健康教室「ノドをきたえよう」 (講師：看護師)
8月17日(木)	・相談コーナー ・健康教室「蜂に刺されたら？」 (講師：看護師)
8月24日(木)	・相談コーナー ・健康教室「体温調整」 (講師：看護師)
8月31日(木)	・相談コーナー ・健康教室「まだまだ心配！熱中症を予防しよう」 (講師：看護師)
9月7日(木)	・相談コーナー ・健康教室「季節の変わり目は体調の変わり目」 (講師：看護師)

※いずれも午前9～12時、午後1時～午後4時開催
宮下病院外来待合室で行います。

☎宮下病院 ☎(52) 2321

消防署からのお知らせ

花火・火遊びによる火災の防止

★花火で安全に遊ぶポイント★

- ①気象条件を考え、風の強いときは花火をしない。
- ②燃えやすいものがなく、広くて安全な場所を選ぶ。
- ③子どもだけでなく大人と一緒に遊ぶ。
- ④説明書をよく読み、注意事項を必ず守る。
- ⑤水バケツを用意し、遊び終わった花火は必ず水につける。

★火遊びによる火災防止ポイント★

- ①子どもだけを残して外出しない。
- ②ライターやマッチを子どもの手の届くところに置かない。
- ③子どもだけで火を取り扱わせない。
- ④火遊びをしているのを見かけたら注意する。
- ⑤火災の恐ろしさ・火の取扱方法についてきちんと教育する。



火事と救急は119
会津坂下消防署三島出張所
☎ (52) 3032
FAX (52) 3033

三島町農業委員7名を任命

7月21日、三島町農業委員7名が任命され、新体制での総会が町民センターで行われました。なお、今回より農業委員会法の改正により、従来の選挙から町長が委員を任命する方式に変わっています。
農地の売買・貸借・転用等各種申請をされる場合は、その月の10日までに農業委員会（産業建設課内）まで提出してください。 ☎ (48) 5566

三島町農業委員名簿

役職	氏名	担当地区
会長	阿部 通利	桧原・大石田・早戸
職務代理者	五十嵐 政人	小山・名入・高清水
	青木 英逸	西方・滝原
	小柴 正洋	宮下・荒屋敷
	二瓶 豊	大谷・浅岐・間方
	長谷川 秋義	川井・大登
	若林 新一	滝谷・桑原



農地利用最適化推進委員を五十嵐忠義さんに委嘱

7月21日、三島町農業委員会は、農地利用最適化推進委員を、五十嵐忠義さんに委嘱しました。
農地利用最適化推進委員は、主に担い手への農地利用の集積の調整や、耕作放棄地の発生防止と解消に向けた調整、農地法に定められた申請や届出についての現地調査などを行います。

会津坂下警察署からのお知らせ

架空請求詐欺にご用心

架空請求の手法は、公的機関とよく似た名前や弁護士、債権回収会社などを名乗り、電子メール、電話やはがきなどを利用し「有料サイト利用料金未納」「裁判になる」などと脅して現金をだまし取るものです。宅急便やレターパックなどを利用して現金を送付させたり、ATMからの振り込み、インターネットギフト券などを購入させて番号を聞き出すなどの方法にとり、現金をだまし取るのが特徴です。

こんな言葉があったら詐欺でござる！

- ①アダルト動画の未納料金がある
- ②退会手続きがされていない
- ③払わないと法的措置をとる
- ④身辺調査を開始する
- ⑤コンビニでギフト券を買って



カクニンジャーフクくん

「ゴミ」の焼却は犯罪です！

簡易な焼却炉や穴を掘って「ゴミ」を燃やしていませんか。近所に煙や臭いなどで迷惑をかけるだけでなく、ダイオキシンなどの有害物質を発生させ、健康や環境に悪い影響があり、火災の原因にもなります。「ゴミ」を焼却すると5年以下の懲役または1千万円以下の罰金です。適切に分別し「ゴミ」として出しましょう。

☎ 福島県会津坂下警察署生活安全係 0242 (83) 3451

街頭犯罪発生件数(平成29年6月30日)

区分	管内	三島町
空き巣ねらい	3	
忍び込み		
出店荒らし		
自動車盗		
自転車盗	2	
ひったくり	1	
街頭犯罪合計	10	0
全刑法犯	64	2

※全刑法犯には街頭犯罪以外(器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など)の犯罪発生件数が含まれます。
※右記発生件数は、平成29年1月1日からの累計数となっています。

社会福祉協議会より

サロンのご案内

ひまわりサロン

8月29日(火) 午前10時
町民センター

☎ (52) 3344

町からお知らせ

たくさんのご寄附
ありがとうございました

町への寄附

坂内 綾子様 (新潟県南魚沼市)
加藤 豊 仍様 (宮城県仙台市)

昨年度より、ふるさと納税に対する返礼品の制度を導入し、また特別町民の皆様からの年会費もふるさと納税として取り扱わせていただいております。多数の皆様からのご支援に対し、厚く御礼申し上げます。

8月分納税のご案内

【納期限】 8月31日

▼町県民税(普通徴収・第2期)

▼後期高齢者保険料

(普通徴収・第1期)

忘れずに納付ください。

☎ 町民課町民係 (48) 5555

町の人口と世帯(7月1日現在)

人口	1,680	増減	出生	0
男	820	-4	死亡	4
女	860	-2	転入	1
世帯	781	-3	転出	3

④住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

はじめまして赤ちゃん



海老名 宇玄(松原) 勇士・智深

末永くお幸せに



今月はおりました。

お悔み申し上げます



今月はおりました。

(7月届出・敬略称)

※掲載を希望する方もされない方も、各種手続き時に『広報みしま掲載同意書』に記載事項を記入していただきます。ご協力をお願いいたします。

☎ 総務課総務係 (48) 5511

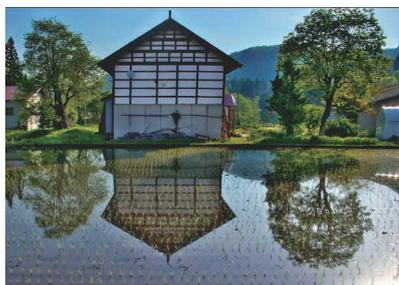
第7回「撮」っておきの三島町 フォトコンテスト 2017



【三島町長賞】『夕焼けの第一只見川橋梁』 田上敏明さん
「只見線の列車と夕焼けを絡めに何度もこの場所へ通っていますが、絶好の条件で撮れたのは一度だけです。」



【交流センター山びこ賞】
『志津倉山の住人』
舟木孝治さん



【交流センター山びこ賞】
『桧原。朝日のあたる家』
門林泰志郎さん



【「写団道奥 21」会長賞】
『Inheritance 継承』
志賀薫さん



【教育長賞】
『楽しい畑仕事①』
渡部友希恵さん
「小二の娘がじゃがいもが大好きで祖父母と一緒に大石田の畑で初めてじゃがいも植えをしました」

第7回「撮」っておきの三島町フォトコンテストには52人から17点の応募がありました。これらの作品は交流センター山びこで8月27日まで展示します。来場者投票で決定する「特別賞」がありますので、ぜひ投票してください。

交流センター山びこ
☎(52) 2165

町長日記

～地方創生の本質は～

No. 25

私「チーム三島」という言葉を、あいさつや文章の中で頻りに使っていることに気づきました。なぜ「チーム三島」という言葉を力説するのか、その基本的な心の有り様を町民の皆さまにご理解いただきたいと考え、この日記を書いておきます。

役場という組織は誰のために存在するのかと問われると、職員は誰も「町民の幸の実現」の為に思えます。結果として自分の幸せと、町民の幸せがイコールになることが三島町にとって一番いいことではありませんが、すべてイコールに成りません。個人の生き方、施策のあり方、町民の皆さまの生きさまが一体となり「幸」と成ることが理想であります。この「幸」に向かって努力する役場組織でなくてはならないと考えています。また、その様な意識で常に仕事することが、町民の皆さまに寄り添うことでもあります。

今、職員は常に「地方創生計画」や「振興計画」等々、法的手続きを経て決められた計画がありますが、時代は日進月歩しており、その変化に対応する為に常に計画の有効性を問い続けていく事が必要であります。その謙虚な姿勢が、将来の時代を生き抜くに耐える計画になっていくと確信しています。

一人で考えて出来ることは限られています。チームや役場は目的達成のために作られた組織であります。役場の存在目的ははっきりしています。町民の福祉向上であります。その実現のために内部組織があります。目的を職員皆で「共有し共感」することが必要で、そのために「たくましく、しなやか」「境界を取り払おうとする意識を持つ」「職員が希望を持てる」このようなチームを育てることが私の責任であると考えます。自分の幸せと町民の幸せを創造するチームにする事こそ、地方創生の本質であると考えます。

8月は三島も普段の人口の3倍に膨れ上がり、山村の風景が一変する一週間でもあります。人口減少時代の町づくりも頭に入れながら、町民の皆さんの様々な場面でのご意見ご協力を通して「協働」の町づくりを展開していきます。仕事は困難です、その困難に立ち向かうには、しなやかなチーム三島を創造し行動することが問われています。

三島町長 矢澤 源成